

# 保健3年

教科	科目名	単位数	学年・コース	教科書名	副教材
保健体育	保健	1	3年共通	現代高等保健体育 (大修館書店)	現代高等保健体育ノート (大修館書店)

学習目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質と能力を育てる。
学習の進め方	教科書を中心に授業を行います。2・3年の保健の授業を通して現代の起きている健康問題を提示しながら「覚える」ばかりではなく「考える」授業を展開していく。
評価対象・方法	授業の取り組みはもとより、定期テスト（期末試験のみ）・ノート提出を評価対象とし、総合的に評価する。
受講に向けての心構えと準備	週1時間と限られた時間の中で、人間の全ての行動の基本となる「健康」について学ぶことは容易ではない。試験は、各学期1回だが、テストの点数や評価ばかりを気にするのではなく、「現代の多様化している健康課題とその対策について」生涯を通じて自分自身の問題に引き寄せて学ぶ姿勢を身につけてもらいたい。

	学習事項	学習内容	備考
一学期	<b>【生涯を通じる健康】</b> 01 ライフステージと健康 02 思春期と健康 03 性意識と性行動の選択 04 妊娠・出産と健康 05 避妊法と人工妊娠中絶 06 結婚生活と健康 07 中高年期と健康 08 働くことと健康 09 労働災害と健康 10 健康的な職業生活	思春期から中高年期までに出会う様々な健康問題について理解する。  健康な結婚生活について、心身の発達や健康状態など保健の立場から理解できるようにする。その際、受精・妊娠・出産とそれに伴う健康問題について学ぶ。また家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについても理解する。  健やかに老いるためには若いころからの適切な生活習慣の重要性を理解する。  職業病や労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴いその質や量が変化してきたことを理解できるようにする。  仕事と生活の調和、すべての人が生活の質を高く保って生きていけるような社会づくりについて学習する。	
	期末試験		
二学期	<b>【健康を支える環境づくり】</b> 01 大気汚染と健康 02 水質汚濁、土壌汚染と健康 03 環境と健康にかかわる対策 04 ごみの処理と上下水道の整備 05 食品の安全性 06 食品衛生にかかわる活動 07 保健サービスとその活用 08 医療サービスとその活用 09 医薬品の制度とその活用 10 さまざまな保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加	人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすこともある。このため様々な対策がとられていることを理解する。  食品の安全性の確保は、どのように行われているのか理解する。また、私たち自身にもどのような役割が求められているのか理解する。  我が国における保健・医療制度を理解する。	
	期末試験		